

1. 授業の概要(ねらい)

経営は、企業の資本(カネ)と労働(ヒト)による協働を円滑に成し遂げるための活動です。経営学は、この活動のあり方について考える学問であり、企業論系と経営管理論系の2つの系統から構成されます。企業論は、企業と利害関係者との関係に主たる関心があり、経営者をどのように規律づけたらよいのか、あるいは企業が社会と折り合いをつけながら成長するためのさまざまな事項が関連します。経営理念や倫理、経営者の役割やその条件、企業の社会における役割やその行動に対する規制などが中心となります。経営管理論は、経営者がマネジメントする組織体に関心があります。いかに戦略を立て、仕事を成員に割り当て、成員のワーク・モチベーションを喚起していくかに焦点が置かれます。経営学概論Ⅱでは、この企業の経営活動について経営管理論で扱われる基礎的な概念を中心に、適時、映像等を用いて取り上げていきます。なお、本講義はDP2及び3に関する知識を修得していきます。

2. 授業の到達目標

経営学が主に研究対象とする企業は、社会全体そして私たち個々人の生活に多大なる影響を及ぼしています。また、受講生の皆さんの多くは、卒業後に営利組織(企業)ないし非営利組織(官公庁など)に就職し、組織の一員として生活を送ることになります。そのため、本講義は、私たちの日常と深い関わりを持っている企業がどのような存在で、どのような仕組みを持ち、どのように運営されているかについて、基本的な理解を身につけることを目標とします。経営学に関する幅広い概念や基礎知識を理解し習得することを通じて、企業の実際の活動内容や企業経営の現場で起きている諸問題を理解し、考える力を養成します。

3. 成績評価の方法および基準

定期試験(60%)、リアクションペーパー(40%)で評価します。

毎授業において、授業で学んだこと、不明点、質問等をリアクションペーパーに記入してもらい、翌週に一部を紹介し、全体へフィードバックします。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用せず、資料を配布します。

参考文献

加護野忠男・吉村典久編著(2012) 1からの経営学(第2版) 碩学舎 (ISBN: 9784502696107)

藤田誠(2015) 経営学入門 中央経済社 (ISBN: 9784502133916)

上野庸裕・馬場大治編著(2016) 経営管理論 中央経済社 (ISBN: 9784502190612)

その他の参考文献は授業中に適宜提示します。

5. 準備学修の内容

事前学習として、配布資料を通読し、どのような内容について学習するのかを把握してください(30分)。

事後学習として、配布資料を再読し、授業のなかで示された要点を十分に理解するようにしてください(60分)。また、授業の中でとりあげた概念を参考にして、日常生活の中での観察や考察に時間を割いてください(30分)。

6. その他履修上の注意事項

LMSを利用して資料を配布します。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 経営戦略の基本概念
- 【第3回】 競争戦略
- 【第4回】 全社戦略
- 【第5回】 ブルーオーシャン
- 【第6回】 企業合併
- 【第7回】 戦略的提携
- 【第8回】 モチベーションの内容論
- 【第9回】 モチベーションのプロセス論
- 【第10回】 リーダーシップ論
- 【第11回】 組織文化
- 【第12回】 コンフリクト・マネジメント
- 【第13回】 イノベーション
- 【第14回】 全体の見直し
- 【第15回】 テスト、まとめ